

神奈川県南足柄市の総合事業について（新交通手段「おでかけ号」実証運行）

計画事業

現況及び課題

- 公共交通網は、伊豆箱根鉄道大雄山線を核として発展し、その大雄山駅及び和田河原駅を中心に、箱根登山バス、伊豆箱根バス、富士急湘南バスの3事業者により路線バスが運行されている。
- 路線バスについては、路線廃止や大幅な減回が発生し、不採算バス路線が課題となっており、また公共交通空白地域が山間部を中心に点在している。
- 平成21年1月初旬に本市山間部に位置する三竹・グリーンヒル地区から小田急線開成駅までの路線バスが不採算を理由に退出し、地域の足の確保が課題となっている。

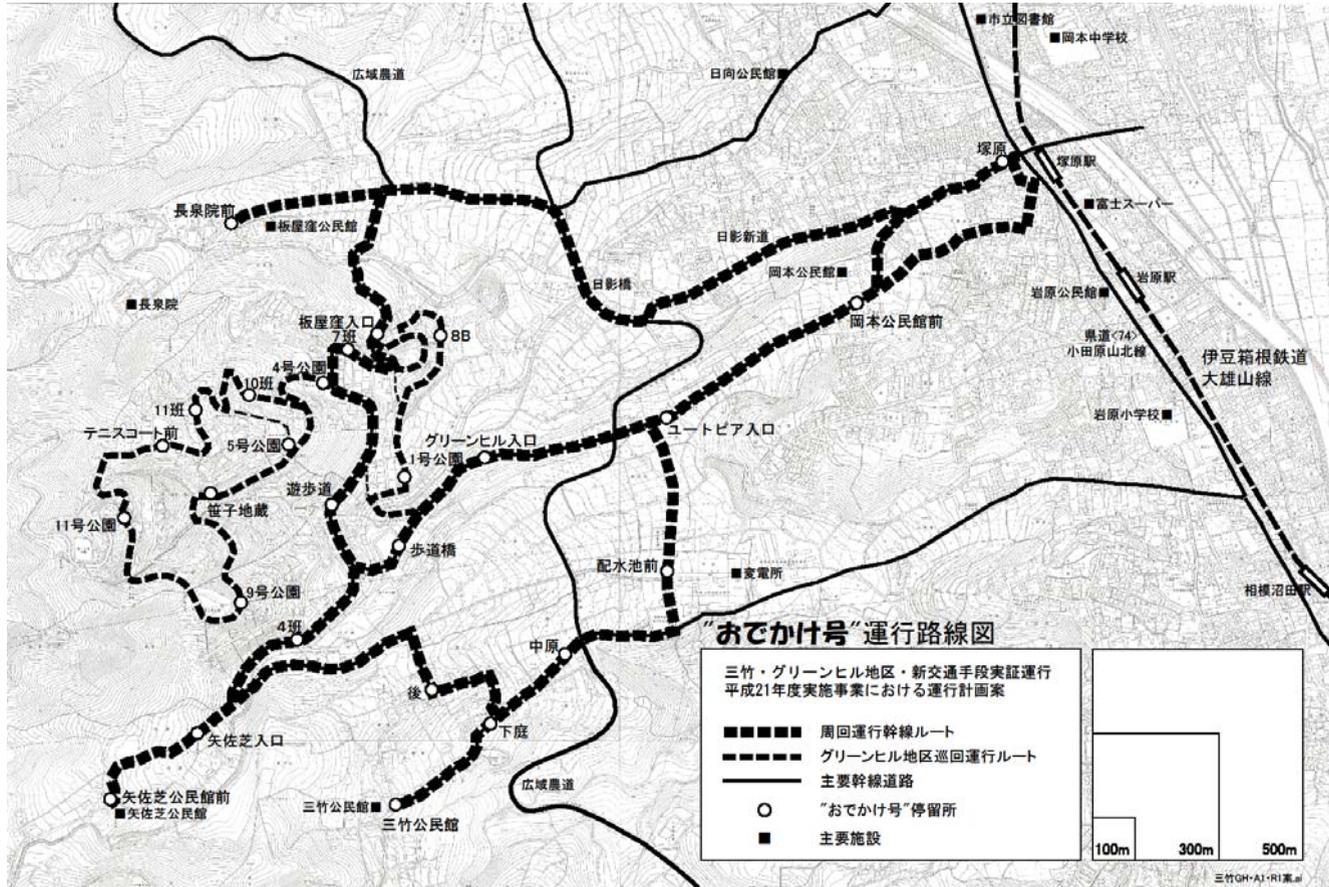
活性化の目標・方向性

- 三竹・グリーンヒル地区から大雄山線塚原駅までの間に、地域住民との協働により、10人乗り程度のワゴン車を走らせることを基本に、住民との協働による持続性のある地域交通への取り組みの推進し、住民ニーズを反映した新たな地域公共交通の導入と公共交通空白地域の解消を目指す。

実施する事業の内容

- 南足柄市三竹・グリーンヒル地区・新交通手段実証運行事業「おでかけ号」実証運行事業（平成21年6月～平成23年度）
 - ◆ルート 塚原－長泉院前－遊歩道－矢佐芝公民館前－三竹公民館－塚原など4ルート
 - ◆本数 1日11往復
 - ◆運賃 200円(大人)、100円(高校生以下)
- 利用促進方策(平成21年度～平成23年度)
 - ◆市民ボランティアを活用した市町村運営有償運送の実証運行
 - ◆フリー乗降システムの実証実験
 - ◆デマンド運行の導入実験

神奈川県南足柄市 : 総合事業の実施区域



注) この縮尺は、作成例として示したものであり、実際の縮尺とは異なります。